

「夢 街道ルネサンス」の展開について

中国地方整備局 法人会員 牧野 浩志
 中国地方整備局 法人会員 ○長谷川幹夫
 中国地方整備局 法人会員 姫村 幸造

1. はじめに

むかしから「街道」は、ただ単に物資の輸送路のためだけではなく、多くの人・物・情報が行き交うことによって人々の生活を支え、沿道の歴史・文化を育み、「地域」や「街」をつくり上げてきました。

新しい時代に向けての「地域・街・道づくり」が問われている今、道の原点である街道の持っている役割に着目し、自らの地域の誇りである歴史・文化・自然などの地域資源に新しい価値とイメージを付与する地域活性化を支援する取り組みが「夢 街道ルネサンス」です。

「夢 街道ルネサンス」は、地域が主体となり、地域資源を活かした地域づくり・街づくり・道づくりを考え、実践していくもので、平成12年度から中国地方独自で取り組んでいる施策です。

2. 「夢 街道ルネサンス」の推進体制と役割

- ① 夢街道ルネサンス推進会議(会長：中国経済連合会会長)
 - ・構成：中国地方の経済界、学識経験者、マスコミ関係者、地域づくりの専門家など21名
 - ・役割：地域づくりの基本的考え方と支援施策の提案 → プロジェクトチームへ提案
- ② 夢街道ルネサンスプロジェクトチーム(チーフ：中国地方整備局中国幹線道路調査事務所長)
 - ・構成：中国地方整備局、中国経済連合会、地域づくりの専門家など20名
 - ・役割：地域づくりの支援施策の具体的検討 → 道ばた会議、地域づくり団体などへの支援
- ③ 道ばた会議(事務局：中国地方整備局道路関係工事事務所など)
 - ・構成：市民、学識経験者、地域づくり団体、地元市町村など約200名
 - ・役割：具体の地域づくりの提案、実践

3. 夢街道認定制度

中国地方整備局では、「夢 街道ルネサンス」の取り組みを具体的に展開するため、「夢街道ルネサンス推進会議」と共同で「夢街道認定制度」を平成13年度に創設し、次の3箇所をはじめて認定しました。

1) 認定箇所

- ① やはせおうらい 八橋往来(鳥取県倉吉市)
 - ・鳥取県の倉吉から米子・赤崎・八橋(東伯町)など西方面に至る街道
 - ・伝統的建造物群の「白壁土蔵群」など多くの歴史的資産があり、回遊性のあるネットワーク化が可能
 - ・伊能忠敬の足跡をたどる会(市・市民等)などが歴史を活かした街づくりの構想を提案
- ② さいこくかいどう 西国街道(広島県東広島市)
 - ・奈良時代に関かれた山陽道(官道：大路)。江戸時代になると「西国街道」と呼ばれ、参勤交代や物資と共に文化の行き交う陸上交通の大動脈として重要な役割を担った街道
 - ・市民や地元郷土史研究会、観光ボランティアの会などによる西国街道沿線の街道マップを作成
 - ・市、経済界を中心に古い酒蔵(酒蔵通り)などを街づくりに活かす動きが活発
- ③ はきおうかん 萩往還(山口県萩市・旭村・山口市・防府市)
 - ・城下町萩(萩市)から、旭村、山口市を経由し、瀬戸内海の三田尻港(防府市)に至る街道
 - ・参勤交代や幕末には維新の志士たちが往来。庶民にとっても陰陽を結ぶ重要な交通路として活用
 - ・石畳の街道で、茶屋跡や駕籠建場など沿線の史跡を復元するなど歴史的な環境整備が進展
 - ・萩往還連絡協議会(市町村)を中心に街道ウォークなどのイベント開催や街道整備への動きが活発

2) 認定箇所への支援内容

① アドバイザー派遣

- ・地域紹介マップ、フォーラムなどのイベント開催や地域主体による地域づくり・街づくりの計画策定を行う際に相談を受けたり、助言を行うためのアドバイザー派遣
- ・計画づくりから基盤整備へとソフト・ハード両面に対する事業メニューの紹介

② 街道の情報発信

- ・「夢街道ルネサンス」のホームページ(<http://www.cgkansen-mlit.go.jp/yumekaidou>)やタウン情報誌などを活用し、認定された街道(地域)の魅力や取り組みを紹介

③ 基盤施設の整備

- ・街道沿線の整備に向けて、効率的かつ効果的に実施できる事業メニュー又は制度・施策の検討
- ・情報発信や案内標識の設置などについて道路管理者間での連携・調整

4. 夢街道フォーラム

夢街道ルネサンスの取り組みを広く知ってもらい、歴史、文化、自然を活かした地域づくり・街づくりを考えてもらう目的で、平成14年1月26日に広島市で「夢街道フォーラム」を開催(約150名参加)しました。

① 事例紹介と座談会

次の3分科会で意見・アイデアを議論

- ・「街道資源の発見・案内」→ 観光ボランティアは、地域づくりの担い手
- ・「住民主導の街道づくり」→ 住民参加の企画に、行政が柔らかない頭でどうのっていか
- ・「イベントによる街道おこし」→ イベントは楽観的に膨らまし、悲観的に計画し、楽観的に実行することが重要

② 地域紹介マップコンテスト

地域づくり・街づくりのスタートは、地元が地域の魅力を知ることからはじまると考え、マップコンテストを開催

- ・中国地方の地域、歴史、文化、自然、道など人が行きたくなるような「地域紹介マップ」を募集
- ・中国5県から63点の応募作品。予備審査を通過した23点を6名の審査員が公開で審査
- ・最優秀賞1点、優秀賞2点、審査員特別賞6点、その他特別賞2点を選定
- ・審査員から、マップづくりのポイントなど、今後のマップづくりの参考になる多くの意見を聴取

5. おわりに

1) 支援の基本的な考え方

- ① 夢街道ルネサンスの取り組みの基本は、地域が地域づくり・街づくりを進める上で悩んでいる事項に対しアドバイスを与え、地域の創意工夫を支援するものです。(計画づくりの主体は地域(市民、経済界、地元自治体等)を基本とし、国は地域の思いを実現するための支援・助言をする立場)
- ② そのため、地域づくりなどの支援方策や支援メニューについては、今後のモデル地区での活動経験を踏まえ、変更していく予定です。

2) 今後の予定

- ① 夢街道ルネサンスの取り組みをフォーラム、HP等を通じて継続かつ積極的にPRしていきます。
- ② 平成14年度以降も「夢街道認定制度」に基づきモデル地区を適宜追加認定し、地域づくり・街づくりなどを支援していきます。
- ③ モデル地区の「点」から、街道沿線の「線」へ展開し、最終的には中国地方全体の「面」へと展開し、中国地方が元気で、光り輝くような地域になるよう「夢 街道ルネサンス」を積極的に展開していく予定です。